

兵庫県立ひょうごこころの医療センター
地域医療連携ニュース

光る風

平成 29 年度第 4 号
平成 30 年 3 月 発行



兵庫県立ひょうごこころの医療センター

〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字登り尾 3
TEL (078) 581-1013 (代表)
(078) 940-5510 (地域医療連携部直通)
FAX (078) 581-1005 (地域医療連携部直通)
URL <http://hmhc.jp/>



- ✦ 全国児童青年精神科医療施設協議会第 48 回研修会を開催して
- ✦ 地域医療連携部 医療福祉相談室のご案内
- ✦ ホームページを全面リニューアルしました！
- ✦ シンポジウム「子どもの貧困 おとなの貧困 社会の貧困」を開催しました
- ✦ 外来診察表

全国児童青年精神科医療施設協議会第48回研修会を開催して

2月2・3日の2日間において、全国児童青年精神科医療施設協議会第48回研修会がANAクラウンプラザホテル神戸にて開催されました。今回のテーマは「社会的養護と児童精神医学臨床」で当センターが幹事病院を務めさせていただきました。

1日目は基調講演Ⅰとして、甲南大学文学部人間科学科教授 森 茂起 先生のご講演で始まりました。全体会では合計12演題が発表され、職種別に分かれて懇談会を実施しました。2日目は全体会で合計23演題が発表され、基調講演Ⅱとして学習院大学文学部心理学科教授 滝川 一廣 先生のご講演で締めくくることが出来ました。盛り沢山のプログラムでしたが有意義な意見交換が行われ、2日間の研修会は無事終了しました。



特別講演Ⅰ

甲南大学文学部人間科学科
森茂起教授

『社会的養育における医療の役割～児童福祉の現場から考える』

全体会



職種別懇談会
看護師部会



テーマ

【児童思春期病棟における人材育成・看護力の底上げについて】
【多職種間の情報共有と統一した関わりについて】
【入院患者の性教育についての現状と問題点】

職種別懇談会
医師部会



テーマ

【今後の研修会の在り方について】
【入院患者のゲームやスマホなど電子機器の使用について】



懇親会

中村徹 ミニコンサート

特別講演Ⅱ

学習院大学文学部心理学科
滝川一廣教授
「臨床からみた社会的養護」



各部署のご紹介！

こんにちは！
地域医療連携部
医療福祉相談室です



医療福祉相談室とは？

病気や怪我の療養に伴う社会的、経済的、心理的問題など、生活問題全般について相談に応じています。

患者さんやそのご家族からのご相談を精神保健福祉士の資格を持った精神保健福祉相談員 17 名がお受けしています。

また、入院中の患者さんに関しては、一人一人に担当相談員が配置されています。外来の患者さんやその他関係機関からの相談にも必要に応じて相談員が対応し、他医療機関、公的機関、介護関連施設と連携することで患者さんをご家族を支えるネットワーク作りのお手伝いをいたします。



生活の主体者として捉える

私たちは、患者さんを「生活者」として捉え、常に、「人びとを生活の主体者として捉える」という視点で関わります。精神科の患者さんには、しばしば社会との間で摩擦が生じることがあります。この摩擦によって生じた葛藤を「生活のしづらさ」といい、ご本人のニーズに寄り添いながら一緒に解決していきます。

ご本人の生活を支える

患者さんを生活者として捉えると、病気が治っただけ、あるいは、退院後の生活環境が整っただけでは、患者さんの抱える「生活のしづらさ」は解決しないことがほとんどです。私たちは環境を整え、その患者さんに応じた社会をデザインすることによって、ご本人の生活を支える仕事をしています。

業務内容

どなたでも、無料で相談できますので、お気軽にご来室ください。相談内容につきましては、秘密が厳守されます。

1 個別的援助（ケースワーク）

福祉サービスの利用
退院後の環境調整
ケア会議やケースカンファレンスによる地域との連携入退院援助

2 集団的援助（グループワーク）

救急病棟家族教室（月 1 回）
救急病棟心理教室（月 4 回）
アルコール病棟家族教室（月 2 回）
アルコール病棟教育プログラム（講義、自助グループミーティング等）
慢性期病棟入院生活技能訓練療法（週 1 回）
児童病棟集団療法（週 1 回）
思春期病棟集団療法（週 1 回、隔週 1 回）

3 相談業務（入院患者さん以外の相談も含む）

医療費や生活費などお金の相談
福祉サービスの利用
退院後の生活についての心配事や不安等

4 その他

各種会議地域活動業務（地域での行事参加、関係機関との連携）
研修・学会への参加精神保健福祉実習の受入れ

ホームページを全面リニューアルいたしました！

このたび当院のウェブサイト进行全面リニューアルいたしました。ご利用者のみなさまに、使いやすく、わかりやすいホームページとなるように、ページ構成やデザインを全面的に見直しました。引き続き、皆様に使いやすいサイトを目指して、内容を充実して参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



医療関係者の皆様には
トップページの「医療関係者の方へ」からお入りいただくと、ご紹介いただく場合の受診やご予約の手順についてご覧いただけます。新しくなったサイトを是非ご覧ください！



子どもの心の診療ネットワーク事業

シンポジウム 『子どもの貧困 おとなの貧困 社会の貧困』 を開催しました

パネリスト

北海道大学教育学研究院 教授 松本伊智朗氏
花園大学社会福祉学部 准教授 和田一郎氏
尼崎市尼崎学園 副園長 鈴木まや氏
NPO法人CPAO 代表 徳丸ゆき子氏

開催日時：平成 30 年 2 月 17 日（土）
場所：兵庫県医師会 大会議室

2016 年厚生労働省の国民生活基準調査によると、日本全体で子どもたちの「7 人に 1 人が貧困」であるという結果が出ました。子どもの貧困は決して他人事ではなく、わたしたちに身近な問題として迫ってきています。

この度のシンポジウムでは、貧困の研究に携わる先生方から貧困が生まれる背景やコスト面で社会全体に与える影響をお話いただき、現場で関わっている先生方から貧困の実情やその支援活動をお話いただいた後、ディスカッションを行いました。

短い時間でしたが、日本における貧困について真剣に考える時間を持つことができました。

アンケートの感想欄からは、参加者の皆様がそれぞれのお立場で支援にどう繋げようかと考えていただいた様子うかがえます。時間延長になったにもかかわらず、ご指摘、お気づきの事柄など多くの貴重なご意見いただきましたこと心より感謝申し上げます。



外来診療のご案内

精神科外来

平成30年1月4日現在

		月	火	水	木	金
1診 (初診)	午前	小田 (もの忘れ外来)	小田 (もの忘れ外来)	横山 (もの忘れ外来) 第1、第3週	小田 (もの忘れ外来)	
	午後					
2診 (初診)	午前	塚田・勝又	河田・廣田・土屋	平良・和田	鈴木・曾我	三田・尾崎
	午後					
3診 (再診)	午前	平良	田中	土居	葛山	田中(初診:成人発達)
	午後					田中
4診 (再診)	午前	石橋	鈴木	木下	置塩	廣田
	午後					
5診 (再診)	午前	木尾	中井	曾我	和田	河田
	午後					
6診 (再診)	午前	三田	置塩(アルコール)	勝又	塚田	曾我(光トポ)
	午後		関口			
7診 (再診)	午前	大山	柴田	見野	渡邊史	土屋
	午後					
8診 (再診)	午前	置塩(アルコール)		射場		
	午後					

児童思春期精神科外来

		月	火	水	木	金
1診	午前	小林 (初・再)	木下 (初診)	田中 (初診)	持田 (初・再)	和田 (初診)(隔週)
	午後	小林 (再診)	木下 (初・再)	田中 (再診)	持田 (初・再)	和田 (再診)
2診	午前		持田 (再診)		小笠原 (初・再)	渡邊敦 (初診)
	午後		持田 (初・再)	渡邊敦 (再診)	小笠原 (再診)	渡邊敦 (再診)
3診	午前			尾崎 (初・再)		
	午後			尾崎 (再診)		
4診	午前				小林 (初・再)	
	午後				小林 (再診)	小林 (再診)